

試合番号 : 182	試合会場 : 旭川市リアルター夢りんご体育館 (旭川市総合体育館)	観客数 : 1,335				
開始時間 : 14:30	終了時間 : 16:18	試合時間 : 01:48				
主審 : 正岡 卓	副審 : 村中 伸					
ヴォレアス北海道	通算 2勝 16敗 ポイント : 7	0	16 第1セット 25 24 第2セット 26 30 第3セット 32 第4セット 第5セット	3	サントリーサンバーズ	通算 15勝 3敗 ポイント : 44
監督コメント	最終的な結果を残せませんでした。第2セットと第3セットで非常に激しい試合をすることができました。第1セットは昨日と同じレベルの攻撃ができませんでした。試合が進むにつれて着実に調子を上げていきました。サントリーサンバーズのサーブも強くなったように思いました。この二日間、我々はよく戦ったと思います。勝てませんでした。我々が徐々にV1のレベルに成長し、試合に勝つために努力していることを感じていただけたら嬉しいです。多くのラリーでボールを落とさないために一生懸命戦い、数点ビハインドの状況から追いつきました。情熱的な試合に感謝いたします。シーズン後半を控え、後半に向けて楽観的に考えていきたいと思っております。				監督コメント	本日もサントリーサンバーズへのご声援、ありがとうございます。昨日に引き続き、非常にタフなゲームでしたが、まずは勝利できたことが収穫です。ヴォレアス北海道は今日も勝利のために戦術、戦略的に攻略してきていました。最後まで諦めずボールを追う姿勢は見習う必要があるチームだと思いました。様々なチームと試合をし、何を感じて成長していけばいい点に届くのか、同じ過ちを繰り返さずチームが前進していくために、個人が何をしなければいけないか考える必要があります。長いシーズン今後もチームでありたいと思います。ヴォレアスのホームゲームでしたが、温かく迎えていただきありがとうございます。今後も「PLAY HARD」していくサントリーをよろしくお願いたします。
要約レポート	昨日に引き続き、ヴォレアス北海道がホームにサントリーサンバーズを迎えての一戦。第1セット、序盤から両者譲らず、11-11と互角のスタート。しかし、サントリーはアラインのサーブや大宅の多彩なトスワークで流れをつかみ、終盤へと進む。最後は鬼木のブロックが決まり、サントリーがセットを先取した。第2セット、第1セット同様両者譲らず、中盤へと突入。サントリーは愈、アラインを中心に得点を重ねてリードし、僅差のまま終盤へ。最後はヴォレアスの張、ルークの猛攻をサントリーのブロックが阻み、セットを連取した。第3セット、ヴォレアスは櫻村を起用。序盤から一進一退の攻防が繰り返される。ヴォレアスはサントリーの高いブロックに苦しむも、張、ルークの攻撃でデュースに持ち込む。最後はサントリーのアラインがスパイクを決め、セットカウント3-0でサントリーが勝利した。					

試合番号 : 183	試合会場 : 有明コロシアム	観客数 : 3,421				
開始時間 : 17:00	終了時間 : 19:09	試合時間 : 02:09				
主審 : 高橋 宏明	副審 : 桑原 健輔					
東京グレートベアーズ	通算 6勝 13敗 ポイント : 22	1	25 第1セット 23 20 第2セット 25 21 第3セット 25 15 第4セット 25 第5セット	3	ウルフドッグス名古屋	通算 11勝 6敗 ポイント : 33
監督コメント	新年最初のゲームで、地震で被災された方々をはじめ、沢山の皆さんに元気を与えられるようなプレーを届けたいと考えています。結果がついて来ず残念です。ウルフドッグス名古屋はともいふオフェンスをしており、なかなかそれを止められず難しい時間を過ごしましたが、今日の試合の序盤にチャンスをもたせ、セットを取ることができました。明日はさらに沢山の元気を届けられるように頑張りますので、応援よろしくお願致します。				監督コメント	地震・津波・火災によって、多くの方が大変な思いをしている中で、Vリーグを開催して頂いたことにチームを代表して、感謝申し上げます。また、本日は新年最初の試合で我々ウルフドッグス名古屋に対して熱い応援をして頂き、誠にありがとうございました。1週間のブレイクがあった中で試合は難しいと思っており、年末年始の練習を積み重ねておりましたが、スタートで我々の求めるレベルのパフォーマンスを発揮することはできませんでした。しかし、ファンの皆様の熱い応援に後押しされて、選手たちは奮い立ち、闘ってくれました。途中から出場した選手の活躍も含めて、全員の勝利だと思います。これからも懸命にプレーすることによって、被災された皆様にも少しでもエネルギーを与えられれば幸いです。皆さまのご安全とご健康を心より祈っております。Enjoy the competition!
要約レポート	共に年末のホーム戦でサントリーとの激闘を繰り広げ、年始も勝利でスタートしたい東京グレートベアーズとウルフドッグス名古屋の一戦。第1セット、序盤は東京GBは後藤、WD名古屋はクレクの攻撃でチームの流れを作る。東京GBは後藤、WD名古屋は小川、両チームの好リレーで23-23まで互いに譲らない展開が続く。東京GBは後藤のブロックでセットを先取した。第2セット、WD名古屋は王、高梨、クレクがブロックポイントを決めてリズムを作る。対する東京GBは武藤のクイック、深津のサーブエース、後藤のバックアタックと多彩な攻撃で2点差に迫る。しかしWD名古屋の守備は崩れず、最後は王がブロックポイントを決めてセットカウントを1-1とした。第3セット、東京GBが柳田を中心とした攻撃で5連続得点を生み、流れを作る。さらに東京GB・深津の選手の間に落とすサーブは相手の守備を崩し、中盤で点差を広げる。終盤、WD名古屋は山崎のブロックポイントなど4連続得点で22-21と逆転に成功する。そのままWD名古屋は押し切り、セットカウントを2-1とした。第4セット、序盤にWD名古屋は王のブロックポイントで点差を広げる。更に、サーブ戦術が功を奏して相手に攻撃の糸口を作らせない。対する東京GBは交代した柳柳が得点をするなどして反撃のきっかけを探る。しかし、WD名古屋は永露を中心とした速い攻撃で攻撃ポイントを量産して反撃を許さず25-15でこのセットを奪取し、セットカウント3-1で勝利した。					

試合番号 : 184	試合会場 : ユメックスアリーナ (塩尻市総合体育館)	観客数 : 725				
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:57	試合時間 : 01:57				
主審 : 原 啓之	副審 : 岡田 崇					
VC長野トライデンツ	通算 1勝 16敗 ポイント : 5	1	17 第1セット 25 25 第2セット 23 17 第3セット 25 21 第4セット 25 第5セット	3	東レアローズ	通算 7勝 10敗 ポイント : 19
監督コメント	東レの強いサーブに苦しめられ、コンビバレーを組み立てることが難しくなりました。その中でもしっかりと得点を取ることができたので、良いところは引き続き明日にも繋げていきたいと思います。ブロックとディフェンスの関係が良く機能していましたが、最後の得点を取るところまで行けなかったことが今日の敗因になると思います。修正できるところはしっかりと修正し、明日の試合に繋げたいと思います。本日も沢山の声援ありがとうございます。また、本年もどうぞよろしくお願いたします。				監督コメント	このたび発生しました、能登半島地震で被災された方に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。今日の試合はサーブレシーブが安定し、しっかりと攻撃を組み立てられた所良かった。ただし細かいコンミスなどが見られたので、明日は修正していきたいと思っております。本日は、たくさんの方の応援ありがとうございました。
要約レポート	VC長野トライデンツが塩尻市ユメックスアリーナに東レアローズを迎えての一戦。第1セットは東レの高さやVC長野を圧倒した。中盤、富田のサーブエース2本を含む6連続得点で、東レがVC長野を引き離す。東レのブロックに苦しむVC長野は中野がワンタッチなどで巧妙に得点を重ね、東レは後半のバダルの3本のブロックなど要所を抑え、最後は徐がアタックを決めて先取した。第2セットはVC長野の気迫が上回った。VC長野・下川は中野と修にトスを集める。一方東レは重藤の強弱をつけたサーブや富田の攻撃、武田の安定したサーブレシーブなどで一進一退の攻防が続くが、後半VC長野は中野、波佐間のブロックで流れを渡さず、最後は修が2本のアタックを決めてセットを取り返した。第3セットは後半連続得点した東レが圧倒した。序盤東レは高橋、バダルの、VC長野は中野、修が得点し16-15と競った展開となる。ここから東レがバダル、上條のブロックなど6連続得点でVC長野を突き放し、このセットを奪取した。第4セットは終盤東レがリード。東レは強力なアタック陣が確実に得点していく。VC長野は下川のリレーやつなぎなどで踏ん張りを見せるが、バダルの強烈なサーブや酒井のブロックが要所で決まり、東レがこのゲームに勝利した。					

試合番号 : 185	試合会場 : 広島グリーンアリーナ (広島県立総合体育館)	観客数 : 5,821				
開始時間 : 14:05	終了時間 : 15:31	試合時間 : 01:26				
主審 : 本間 明	副審 : 戸川 太輔					
JTサンダーズ広島	通算 13勝 4敗 ポイント : 36	0	20 第1セット 25 18 第2セット 25 19 第3セット 25 第4セット 第5セット	3	パナソニックパンサーズ	通算 14勝 1敗 ポイント : 42
監督コメント	相手はアタック、サーブ、ディフェンスのすべての面で上回っていたと思います。明日へ向けて、今日良くなかったことはミーティングで確認をして、メンタル面、アグレッシブさをもっと出して、プレーの質を高めていきたいと思います。ファンの皆様、ご声援ありがとうございました。				監督コメント	今日の試合では私たちのプレーが素晴らしいかったです。大事な試合で、質が高かったと思います。明日も応援よろしくお願いたします。
要約レポート	新年を迎えホームゲームを勝利していいスタートを切りたいJTサンダーズ広島と勝ち星を伸ばしていきたいパナソニックパンサーズとの一戦。第1セット、パナソニックはジュスキー、西田のスパイクで連続ブレイクをし、序盤にリードを広げる。JT広島は新井のブロックやラッセルのスパイクで追いつけを見せるも、パナソニックはジュスキーのブロックや大塚のスパイクでJT広島を寄せ付けず、セットを先取した。第2セット、JT広島は三輪のブロックやラッセルのブロックで得点を重ね、序盤を優位に進める。一方、パナソニックは大塚のスパイクなどで点差を詰め、中盤まではサイドアウトの応酬となる。ここからパナソニックはジュスキーのサーブ、山内のブロックで一つ抜け出し、そのままセットを連取した。第3セット、JT広島は三輪のサーブ、山内のブロックで一つ抜け出し、そのままセットを連取した。第4セット、JT広島は三輪のブロックやラッセルのスパイクで序盤にリードを広げる。パナソニックは大塚のスパイクや山内のブロックなどで逆転に成功し、セットを優位に進める。終盤はパナソニックのジュスキーのサーブ、代わって入った中村のサーブを起点に連続ブレイクをして、JT広島を突き放し、最後は西田のスパイクが決まり、ストレートで勝利を飾った。					